

患者さんへ

疫学研究「外傷性肋骨骨折に対する硬膜外麻酔の検討」についての説明文書

1. この疫学研究の目的

肋骨骨折患者の痛みのコントロールは、肺炎や無気肺などの呼吸器系合併症を回避するためにも重要です。いくつかの痛み止めの方法があり、このうち硬膜外麻酔はガイドラインでも記載があるものの、予後を含めてどの痛み止めの方法がよいか未だに明らかではありません。そこで今回、当センターにおける肋骨骨折に対する硬膜外麻酔による疼痛管理の効果を検討します。

2. 疫学研究実施期間

2012年1月から2023年12月

3. 疫学研究に参加していただく対象患者さん

2012年1月から2021年12月の間に当センターに搬送された外傷性肋骨骨折患者のうち、硬膜外麻酔による疼痛管理を行った症例

4. 疫学研究の方法について

電子カルテを用いて調査します。年齢、性別、来院時バイタル、重症度（ISS）、血胸・肋骨骨折・肺挫傷の有無、硬膜外麻酔の施行前後における疼痛評価、静注フェンタニルの量、嘔気の有無、経口摂取量と、合併症、転帰などを検討します。

5. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

この疫学研究に参加するかしないかはあなたの自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、あなたはいつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。また、代諾者の方もあなたと同様に同意を撤回したり、中止の申し入れをしたりすることができます。

なお、疫学研究の途中で同意を取り消された場合でも、現時点で考えられる最善の治療を行いますので、あなたにとって何ら不利益を受けることはありません。

6. あなたの人権・プライバシーの保護について

この研究では、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などの個人情報登録しません。また、人間関係や会話内容なども一切使用しません。施設内の個人情報管理者が、厳重に元データを保管・管理しております。ご心配な点がございましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

7. この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、診療録に記載された患者さんの情報を登録するものですので、患者さんへの危険性や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

8. 費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者さんの費用負担は、一切ありません。

9.この疫学研究を担当する医師の氏名、連絡先

この疫学研究について分からないことやさらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合は、いつでもご連絡ください。

疫学研究責任医師;

氏名; 井上 明彦 連絡先;078-241-3131